

令和6年度フレンズジム滝谷事業者向け 事業所自己評価アンケート

2022年9月実施

配布数: 11 回収数 11 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
事業所の療育環境や職員体制について	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	・送迎時に状況をその都度報告している。
	②	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	82%	9%	9%	・足りない時もある為なるべく適切な人数を配置できるようにしていく。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	・児童の視覚に入りやすい場所に絵カードや表などを貼り、分かりやすく提示している。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	・清掃や消毒をこまめに行っている。
	⑤	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	82%	9%	9%	・個室対応があるもの子どもに適しているとは言えない場である。
	⑥	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・ミーティングの際に、業務改善や意見出し合いなど話し合える場を設けている。
業務改善について	⑦	保護者等向け評価表を活用する等により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 毎年8~9月ごろにアンケート調査を実施し、12月までには改善点等をまとめて公表している。	100%	0%	0%	・アンケート調査を実施し、結果を集計し、ホームページに掲載している。
	⑧	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・意見等を把握する機会を設けなくても、日頃の打ち合わせや記録記入時等に話し合いができており、業務改善に繋がっている。
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	82%	0%	18%	・定期的に行っているが、頻繁ではないこと、職員より外部評価がないのはどうなのかとの意見もあったため考えていきたい。
	⑩	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	100%	0%	0%	・定期的に研修日を設け、講義を聞いたり、実践形式で行ったりしている。
	⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100%	0%	0%	・毎月通信でプログラムやイベントなど載せ、配布している。

適切な支援の提供について	⑫	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	・半年に1回、必要時は適宜、個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成している。
	⑬	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	100%	0%	0%	・児童の様子や必要な支援について、子どもの支援に関わる職員で話し合った上で個別支援計画を作成している。
	⑭	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	・各個別ファイルに綴じてあり、職員が確認できるようになっている。又ミーティング時、計画に沿った支援の仕方を職員間で共有している。
	⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	100%	0%	0%	・標準化された個別記録を取り、個々に応じたアセスメントの書式を使用している。
	⑯	個別支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	・生活面について、運動、作業面、社会性、コミュニケーション、言語についての五領域を含む本人支援、また家族支援、地域連携の内容を踏まえた個別支援計画を作成している。
	⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	・正社員同士で話し合い、立案している。
	⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	・過去のプログラムなど参照し、固定化しないよう確認しながら行っている。
	⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、	100%	0%	0%	・子ども一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し、支援を行っている。
	⑳	又援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	100%	0%	0%	・必ず送迎前に打ち合わせを行い、児童の状況、注意事項など情報共有し、連携を図っている。
	㉑	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われて支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・記録記入時、出来事や注意事項、保護者からの相談や要望などその都度情報共有している。
	㉒	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・その日にあったことや支援検証してみたの結果等詳しく記載し、次の支援に繋げている。
	㉓	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	91%	9%	0%	・半年に1回、必要時は適宜、個別支援計画に沿った見直しや評価を行っている。
㉔	放課後等デイサービスガイドラインでは「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか	100%	0%	0%	・ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせることで支援を行っている。	

②5	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	100%	0%	0%	・子ども自身が決められるような2択で提案したり、考える時間を設けたりと工夫している。
②6	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した適任者が参画しているか(各機関とのケース会議なども含む)	100%	0%	0%	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議は、児童発達支援管理責任者が参加している。
②7	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	100%	0%	0%	・各関係機関と連携できる体制は整っている。
②8	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	・定期的に保育所や認定こども園、幼稚園へ伺い、支援内容等の情報共有を行っている。
②9	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	73%	9%	18%	・直接学校とはしていないが、保護者を通じて行っている為継続して情報共有していきたい。
③0	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、必要に応じて助言や研修を受けているか(ケースワーカーや訓練士との情報共有なども含む)	91%	9%	0%	・児童発達支援センターとの連携しつつ、時期などを相談したうえで研修を受けさせてもらっている。
③1	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害がない子どもと活動する機会があるか(戸外活動中での交流等)	100%	0%	0%	・戸外活動やイベント等で出かけた際、障害がない子どもとの交流がある。
③2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・送迎時にその日にあった事や状況等、些細なこともその都度報告している。
③3	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	82%	9%	9%	・保護者へのアドバイスは行っているが、ペアレントトレーニングは行っていない。
③4	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか(こども支援部会、児発・放デイ連絡会へ主に管理者が参加)	100%	0%	0%	・定期的に地域自立支援協議会に参加している。
③5	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	・契約時、文書などを用いて詳しく説明を行っている。
③6	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	100%	0%	0%	・標準化された書式を用いて事前に保護者にこどもや保護者の意向を記入してもらい、それを参考に個別支援計画を作成している。

	③⑦	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	・計画書作成時に案を保護者に確認してもらっている。
非常時等の対応	③⑧	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	・面談や送迎時に保護者より子育ての悩み相談があった場合は、話を聞き、アドバイス等迅速に対応している。
	③⑨	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	100%	0%	0%	・時期を見ながら年2回ほど保護者会を開催し、保護者同士交流できる機会を設けている。
	④⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・苦情や要望があった場合は迅速に対応を行っている、
	④⑪	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・毎月フレンズジム通信を配布し、行事予定のお知らせや活動報告など定期的に行っている。SNSについては、アカウントはあるがまだ始められていない為、今後投稿していきたい。
	④⑫	個人情報に十分留意しているか	100%	0%	0%	・個人情報漏れに十分に注意している。
	④⑬	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	・
	④⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	100%	0%	・地域住民が参加できるイベントの企画はしたことがない為今後企画していきたい。
	④⑮	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	・各マニュアルを策定し、職員が自由に見られるようファイリングしてある。
	④⑯	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・定期的に非常災害発生に備え、実際に想定し、避難する訓練を行っている。
	④⑰	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	0%	・服薬や予防接種等に関しては、保護者との情報共有している。てんかん発作等もったお子さんの利用はまだないが、今後てんかん発作等もったお子さんを受け入れる場合には、かかりつけ医との情報共有や正しい対応等、確認していきたい。
	④⑱	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応(保護者からの情報提供も含む)がされているか	91%	100%	9%	・医師ではなく、保護者より情報提供をしてもらい確認している。

	④9	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	100%	0%	0%	・安全計画を作成し、施設内の危険箇所の確認や、送迎時、活動時、戸外時に子どもが安全に過ごせるように安全指導を行っている。
	⑤0	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	100%	0%	0%	・年間の安全計画について家族へ周知して
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100%	0%	0%	・月例会議、店舗ミーティングの際には、ヒヤリハットを共有し、改善策も検討できている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか(年1回必須)	100%	0%	0%	・年1回、研修する機会を設けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載していくことは、職員間で周知されている	100%	0%	0%	現在、対象児童なし
	54	その他、気になることやご意見、改善点がありましたらご記入ください				